

2021年度 学生生活の満足度調査結果（コミュニティ生活学科）

1. 調査回答者

2年次 81名 【卒業生94名 提出率86%】

2. 調査結果

1) 満足度調査

| 領域 | 項目 | 1.不満 | | 2.やや不満 | | 3.やや満足 | | 4.満足 | | 0.その他 | | 計 |
|---------|-----------------------------------|------|----|--------|-----|--------|-----|------|-----|-------|-----|-----|
| 教務 | カリキュラム(教育課程) | 0人 | 0% | 2人 | 2% | 23人 | 28% | 56人 | 69% | 0人 | 0% | 81人 |
| | 授業 | 0人 | 0% | 4人 | 5% | 21人 | 26% | 56人 | 69% | 0人 | 0% | 81人 |
| | 授業科目が豊富で充実していた | 0人 | 0% | 2人 | 2% | 11人 | 14% | 68人 | 84% | 0人 | 0% | 81人 |
| | 自分の将来の目標や適性にあわせて授業科目を自由に選べるのがよかった | 0人 | 0% | 2人 | 2% | 20人 | 25% | 59人 | 73% | 0人 | 0% | 81人 |
| | 学びたいと思っていたことを学ぶことができた | 0人 | 0% | 5人 | 6% | 22人 | 27% | 54人 | 67% | 0人 | 0% | 81人 |
| | 入学前に期待したとおり(または期待以上)の授業や指導を受けられた | 0人 | 0% | 8人 | 10% | 30人 | 37% | 43人 | 53% | 0人 | 0% | 81人 |
| 学生生活 | 教員のサポート体制 | 0人 | 0% | 2人 | 2% | 23人 | 28% | 56人 | 69% | 0人 | 0% | 81人 |
| | 職員のサポート体制 | 0人 | 0% | 3人 | 4% | 23人 | 28% | 55人 | 68% | 0人 | 0% | 81人 |
| | チューターのサポート体制 | 0人 | 0% | 3人 | 4% | 12人 | 15% | 66人 | 81% | 0人 | 0% | 81人 |
| | 自分でチューター(セミナー)を選べるのがよかった | 0人 | 0% | 2人 | 2% | 5人 | 6% | 74人 | 91% | 0人 | 0% | 81人 |
| | 自分にとって大切な友達を作ることができた | 0人 | 0% | 3人 | 4% | 18人 | 22% | 60人 | 74% | 0人 | 0% | 81人 |
| | 自分の個性を大切にしてくれる学科だ | 0人 | 0% | 2人 | 2% | 17人 | 21% | 62人 | 77% | 0人 | 0% | 81人 |
| | コミュニティ生活学科に入学してよかった | 0人 | 0% | 2人 | 2% | 16人 | 20% | 63人 | 78% | 0人 | 0% | 81人 |
| | 入学してきた時よりも成長した | 0人 | 0% | 4人 | 5% | 20人 | 25% | 57人 | 70% | 0人 | 0% | 81人 |
| | コロナ対応に係るサポート体制 | 1人 | 1% | 4人 | 5% | 27人 | 33% | 49人 | 60% | 0人 | 0% | 81人 |
| キャリアアップ | 就職支援体制 | 1人 | 1% | 13人 | 16% | 25人 | 31% | 42人 | 52% | 0人 | 0% | 81人 |
| | 資格取得支援体制 | 1人 | 1% | 5人 | 6% | 24人 | 30% | 51人 | 63% | 0人 | 0% | 81人 |
| 自治会活動 | 自治会活動全般 | 3人 | 4% | 7人 | 9% | 27人 | 33% | 31人 | 38% | 13人 | 16% | 81人 |
| 施設 | 図書館 | 1人 | 1% | 5人 | 6% | 28人 | 35% | 47人 | 58% | 0人 | 0% | 81人 |
| | 食堂 | 1人 | 1% | 8人 | 10% | 32人 | 39% | 41人 | 49% | 1人 | 1% | 83人 |
| | 保健室 | 2人 | 2% | 2人 | 2% | 27人 | 33% | 49人 | 60% | 1人 | 1% | 81人 |
| | 学生相談室 | 2人 | 2% | 3人 | 4% | 29人 | 36% | 47人 | 58% | 0人 | 0% | 81人 |
| | 施設や設備全般 | 3人 | 4% | 7人 | 9% | 30人 | 37% | 41人 | 51% | 0人 | 0% | 81人 |
| 総合 | 総合的に学生生活に満足していますか? | 1人 | 1% | 3人 | 4% | 22人 | 27% | 55人 | 68% | 0人 | 0% | 81人 |

※その他は無回答。

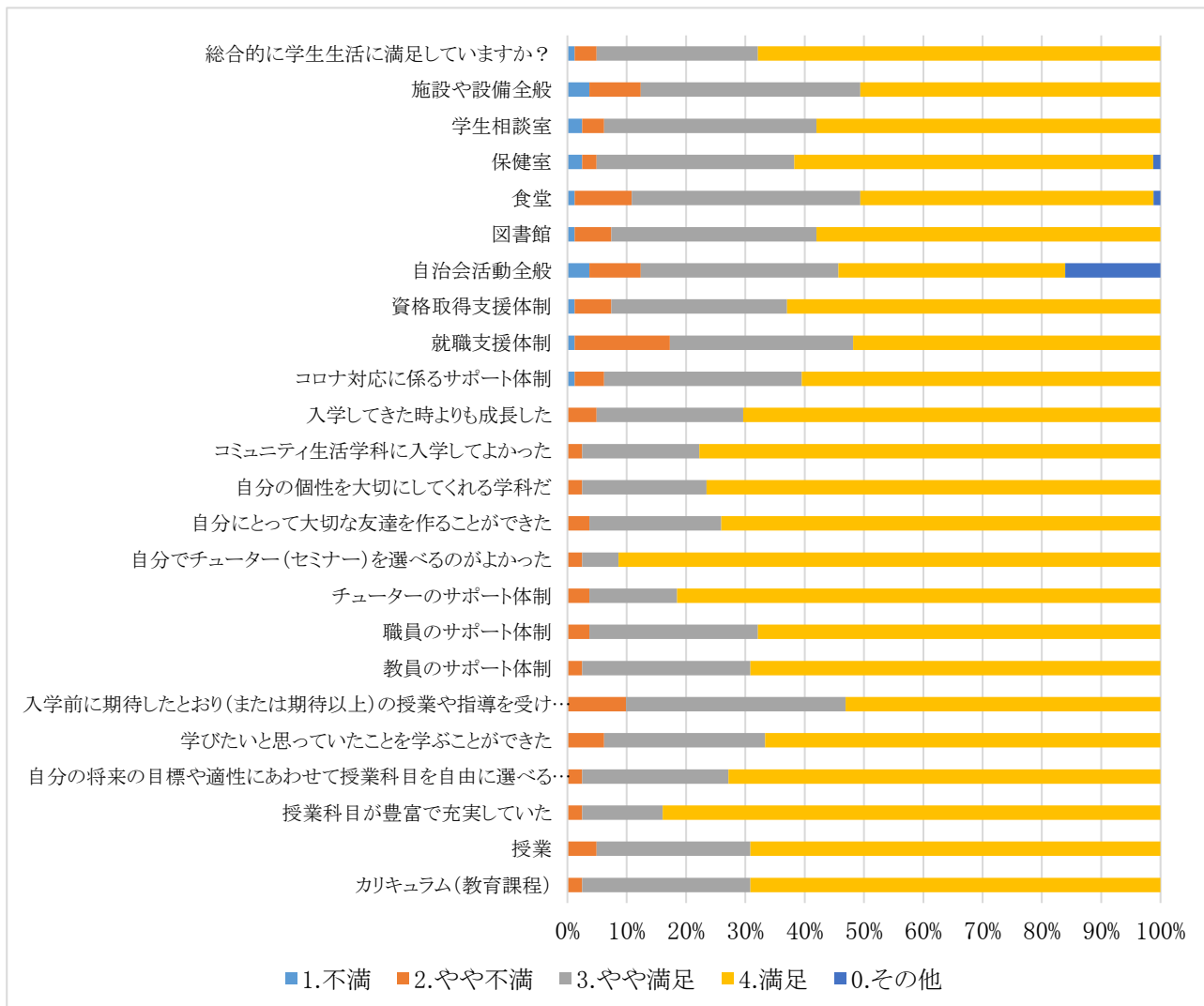
2) 自己点検

| 項目 | 1.身に付かなかった | | 2.あまり身に付かなかった | | 3.やや身に付いた | | 4.身に付いた | | 0.その他 | | 計 |
|----------------------------------|------------|----|---------------|----|-----------|-----|---------|-----|-------|----|-----|
| 専門的な知識や技術を身につけることができた | 2人 | 2% | 2人 | 2% | 23人 | 28% | 54人 | 67% | 0人 | 0% | 81人 |
| これからの生活や仕事で役立つことを多く学べた | 1人 | 1% | 3人 | 4% | 22人 | 27% | 55人 | 68% | 0人 | 0% | 81人 |
| 人と積極的にかかわれるようになった | 1人 | 1% | 4人 | 5% | 25人 | 31% | 51人 | 63% | 0人 | 0% | 81人 |
| 社会や地域など、だれかのために役立ちたいと考えられるようになった | 1人 | 1% | 4人 | 5% | 28人 | 35% | 48人 | 59% | 0人 | 0% | 81人 |
| 短大生活をとらえて生活態度や言葉遣いに成長があった | 1人 | 1% | 5人 | 6% | 22人 | 27% | 52人 | 64% | 1人 | 1% | 81人 |
| 短大生活をとらえて精神的に成長した | 1人 | 1% | 5人 | 6% | 21人 | 26% | 53人 | 65% | 1人 | 1% | 81人 |
| 短大生活をとらえて自立できる自信がついた | 1人 | 1% | 3人 | 4% | 27人 | 33% | 49人 | 60% | 1人 | 1% | 81人 |

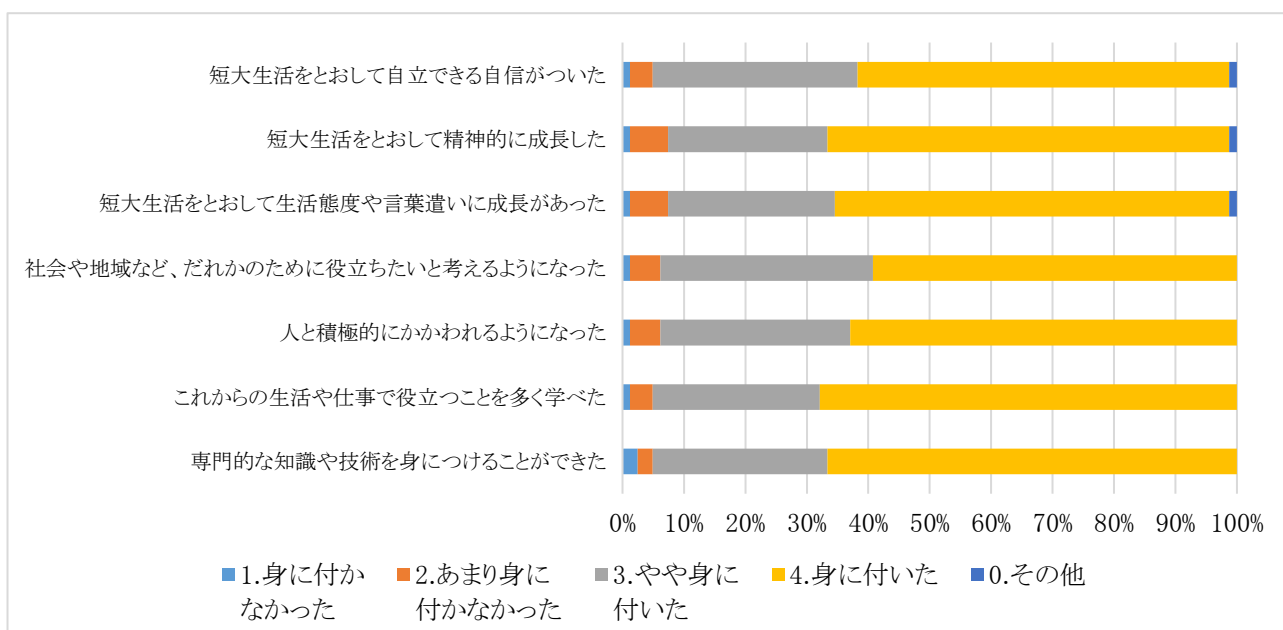
※その他は無回答。

3. グラフ

1) 満足度調査



2) 自己点検



4. まとめ

1) 満足度調査

(1) 状況と課題

- ① 満足度調査については、満足の割合が高い項目は以下の7項目だった。

「授業科目が豊富で充実していた」84%、「自分の将来の目標や適性に合わせて科目を自由に選べるのが良かった」73%、「チューターのサポート体制」81%、「自分でチューター(セミナー)を選べるのが良かった」91%、「自分にとって大切な友達を作ることができた」74%、「自分の個性を大切にしてくれる学科だ」77%、「コミュニティ生活学科に入学してよかった」78%。

また、「総合的に学生生活に満足していますか？」は1年次終了時期に比べて、「4. 満足」が40%⇒68%と1年間で28%高くなった。また、「3. やや満足」と合わせると95%となった。

- ② 課題としては「就職支援体制」にやや不満と答えた学生が16%と高かったことがあげられる。

(2) 要因分析

本学科はオープンキャンパスや入試説明会において、学科の特徴や学びの説明を聞いて入学してきた学生が大半を占めている。そうした学科の特性が学ぶ側の学生に理解され、期待される学びが実践できた2年間の評価だと考える。「就職支援体制」について1年生の時期から、チューターによる個人面談の時間などで就職について話す機会を増やしていくことで就職支援体制への不安を解決していきたいと思う。

(3) 本年度の対策

引き続き、学生とのコミュニケーションを丁寧にとることを心掛ける。夢カルテを生かした「学習面」「生活面」の身近な目標達成を半年に1回振り返っていくことを踏まえ達成感や満足感を味わう機会をつくる。日々の授業で学びの充実を実感できるよう授業を工夫していく。

2) 自己点検のまとめ

- ① 自己点検については、満足の割合が高い項目は以下の3項目だった。「これからの生活や仕事で役立つことを多く学べた」68%、「専門的な知識や技術を身につけることができた」67%、「短大生活を通して精神的に成長した」65%。

- ② 1年次の調査と比較するとすべての項目で19~34%満足の割合が高くなった。特に、「人と積極的に関わられるようになった」34%、「短大生活を通して自立できる自信がついた」30%と「満足」を選んだ割合が高くなっていた。コロナ禍で、遠隔授業(C-Learning)と対面授業とを併用した体制で進めた2年生を終え、全体の満足度が上がったのは、チューターのサポート体制が反映される学生生活の満足度の高さと2年間で何ができるようになったかの指標となる自己点検評価の高さによるものと考えられる。

2021年度 学生生活の満足度調査結果（食物栄養学科）

1. 調査回答者

2年次 34名 【卒業生40名 提出率85%】

2. 調査結果

1) 満足度調査

| 領域 | 項目 | 1.不満 | | 2.やや不満 | | 3.やや満足 | | 4.満足 | | 0.その他 | | 計 |
|---------|--------------------------|------|----|--------|-----|--------|-----|------|-----|-------|----|-----|
| 教務 | カリキュラム(教育課程) | 1人 | 3% | 2人 | 6% | 15人 | 44% | 16人 | 47% | 0人 | 0% | 34人 |
| | 授業 | 2人 | 6% | 2人 | 6% | 18人 | 53% | 12人 | 35% | 0人 | 0% | 34人 |
| | 食物栄養学科で行われている行事やボランティア活動 | 2人 | 6% | 4人 | 12% | 17人 | 50% | 11人 | 32% | 0人 | 0% | 34人 |
| | 食物栄養学科で行ったセミナー指導 | 1人 | 3% | 1人 | 3% | 10人 | 29% | 22人 | 65% | 0人 | 0% | 34人 |
| 学生生活 | 教員のサポート体制 | 1人 | 3% | 0人 | 0% | 15人 | 44% | 18人 | 53% | 0人 | 0% | 34人 |
| | チューターのサポート体制 | 0人 | 0% | 2人 | 6% | 8人 | 24% | 24人 | 71% | 0人 | 0% | 34人 |
| | 職員のサポート体制 | 0人 | 0% | 4人 | 12% | 16人 | 47% | 14人 | 41% | 0人 | 0% | 34人 |
| | コロナ対応に係るサポート体制 | 2人 | 6% | 7人 | 21% | 11人 | 32% | 14人 | 41% | 0人 | 0% | 34人 |
| キャリアアップ | 就職支援体制 | 0人 | 0% | 0人 | 0% | 11人 | 32% | 23人 | 68% | 0人 | 0% | 34人 |
| | 資格取得支援体制 | 0人 | 0% | 1人 | 3% | 15人 | 44% | 18人 | 53% | 0人 | 0% | 34人 |
| 自治会活動 | 自治会活動全般 | 1人 | 3% | 5人 | 15% | 19人 | 56% | 9人 | 26% | 0人 | 0% | 34人 |
| 施設 | 図書館 | 0人 | 0% | 0人 | 0% | 14人 | 41% | 20人 | 59% | 0人 | 0% | 34人 |
| | 食堂 | 2人 | 6% | 2人 | 6% | 18人 | 53% | 12人 | 35% | 0人 | 0% | 34人 |
| | 保健室 | 1人 | 3% | 0人 | 0% | 14人 | 41% | 19人 | 56% | 0人 | 0% | 34人 |
| | 学生相談室 | 1人 | 3% | 0人 | 0% | 18人 | 53% | 15人 | 44% | 0人 | 0% | 34人 |
| | 施設や設備全般 | 3人 | 9% | 4人 | 12% | 16人 | 47% | 11人 | 32% | 0人 | 0% | 34人 |
| 総合 | 総合的に学生生活に満足していますか？ | 2人 | 6% | 3人 | 9% | 17人 | 50% | 12人 | 35% | 0人 | 0% | 34人 |

※その他は無回答。

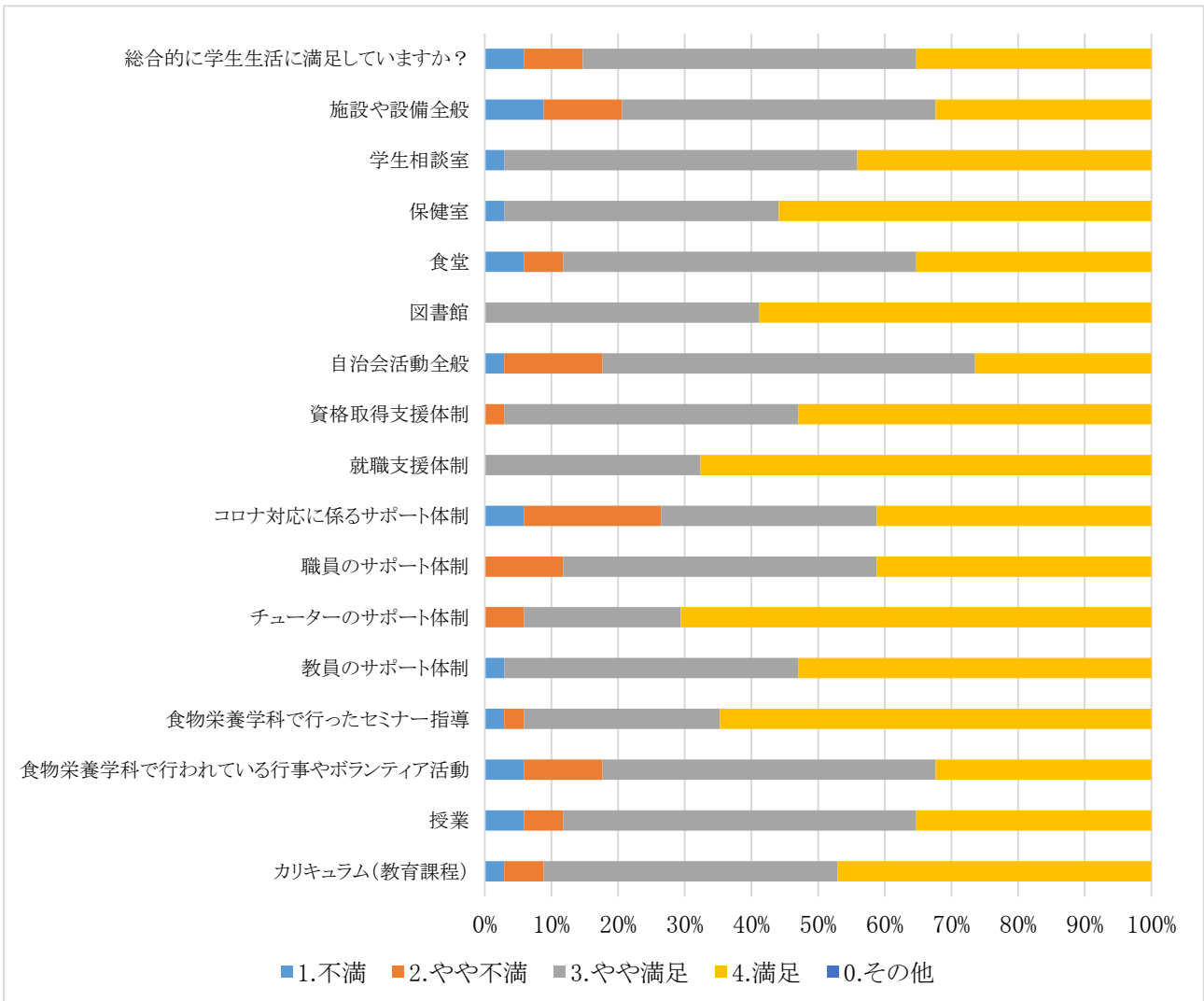
2) 自己点検

| 項目 | 1.身に付かなかった | | 2.あまり身に付かなかった | | 3.やや身に付いた | | 4.身に付いた | | 0.その他 | | 計 |
|--------------------------------|------------|----|---------------|----|-----------|-----|---------|-----|-------|----|-----|
| 栄養士として必要な専門的な知識や技術を身につけることができた | 1人 | 3% | 2人 | 6% | 18人 | 53% | 13人 | 38% | 0人 | 0% | 34人 |
| 食物栄養学科の1年間で調理技術が向上した | 1人 | 3% | 1人 | 3% | 17人 | 50% | 15人 | 44% | 0人 | 0% | 34人 |
| 対象者に合った献立作成や調理、栄養指導ができるようになった | 1人 | 3% | 1人 | 3% | 23人 | 68% | 9人 | 26% | 0人 | 0% | 34人 |
| 自らの食生活を振り返り、自己評価することができるようになった | 0人 | 0% | 0人 | 0% | 21人 | 62% | 13人 | 38% | 0人 | 0% | 34人 |
| 短大生活を通して社会的に自立できる自信がついた | 0人 | 0% | 0人 | 0% | 21人 | 62% | 13人 | 38% | 0人 | 0% | 34人 |

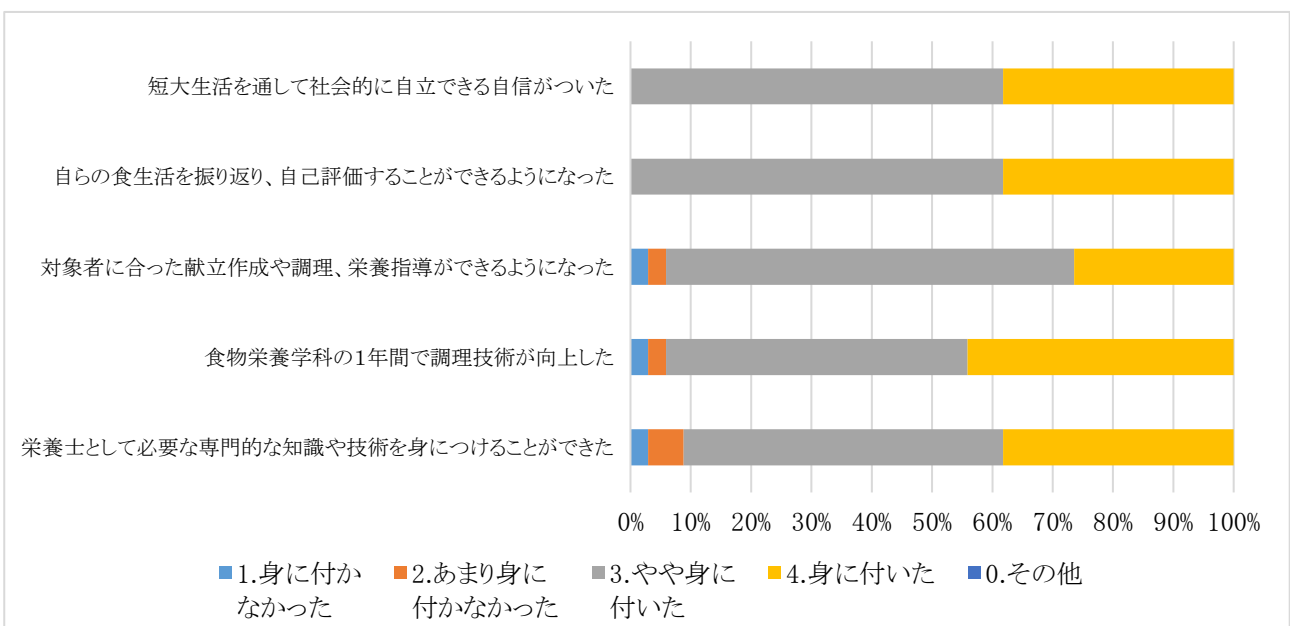
※その他は無回答。

3. グラフ

1) 満足度調査



2) 自己点検



4. まとめ

1) 満足度調査

(1) 状況と課題

今回の調査は6領域、17項目について行われた。

「教務」領域についての項目では、「満足」または「やや満足」を回答した者は、カリキュラムやセミナー指導において90%以上であり、特にセミナー指導では、94%で高く評価されていた。一方、食物栄養学科の授業については88%、学科の行事やボランティア活動では82%であった。

「学生生活」領域については、「満足」または「やや満足」と回答した者は、教員のサポート体制及びチューターのサポート体制は97%、職員のサポート体制は85%、コロナ対応に係るサポート体制は73%であった。コロナ対応のサポート体制については「不満」または「やや不満」が27%であった。

「キャリアアップ」領域の2項目については、「満足」または「やや満足」と回答した者は就職支援体制は100%、資格取得体制は97%であった。

「自治会活動」領域については、「満足」または「やや満足」と回答した者は82%であり、「やや不満」または「不満」が18%であった。

「施設」領域では、「満足」または「やや満足」と回答した者は、図書館と保健室が100%、学生相談室が97%、食堂は88%、施設や設備全般は79%であった。

総合的な満足度については、学科が設定している「満足」「やや満足」90%以上に対して、今回の調査結果では、84%であり、目標に達することができなかった。

(2) 要因分析

対象学年は、入学当初からコロナ禍の中にあり、対面授業の実施方法の変更や学科行事、学内行事等が中止となるなど、新型コロナウイルス感染症の対策を行うために、学生達は多くの制約の中で学生生活を過ごすこととなった。

「教務」領域の授業については、オンライン授業の併用により対面授業とは異なる環境下であったことにより、実際に実験実習の機会が得られなかったことが要因と考えられる。

「学生生活」領域では、教員やチューターによるサポート体制は概ね満足していたが、食物栄養学科では「きめ細かな学生指導」を行っており、その成果が結果に反映されたものと思われる。その一方で、コロナ対応に係るサポート体制については、自由記述にもあるように不満を感じていたことが感じ取れる。

「キャリアアップ」領域の満足度が高い評価であったことは、学科とキャリアセンターとの連携により、学生の進路決定率が100%であることから、学生一人一人に寄り添った進路支援ができていたことがわかる。

「自治会活動」領域については、昨年度に続いて本年度も大学祭やスポーツ大会が中止となり、行事が行われなかったことが「不満」「やや不満」になった要因と思われる。

「施設」領域については、学生のニーズに対応できていた図書館や保健室、学生相談室などの評価が高かった。一方で、施設や設備全般については、実験や実習で使用していた教室の施設環境や設備・備品の老朽化などにより、満足度がやや低い評価になったものと思われる。

総合的な満足度が、目標の90%以上に達しなかったのは、主な要因はコロナ禍の中での学生生活であったことにより、様々な活動がこれまでと変化したことによるものと考えられる。

(3) 本年度の対策

コロナ禍における学生生活が続くことから、さらに授業を充実させる必要性を感じている。対面授業を充実させるとともに、オンライン授業も想定しながら、授業内容の充実を図りたい。特にコロナ対応に係るサポート体制を整えたい。

セミナー&チューター制を活用して、引き続き、学生に寄り添ったきめ細かい支援を行い、学業や学生生活、進路支援などを行い、満足度の向上に努めたい。

2) 自己点検のまとめ

自己点検の5項目に関しては、「身に付いた」と「やや身に付いた」を合計して「身に付いた」とすると、すべての項目において、90～100%が「身に付いた」と回答していた。特に、「自らの食生活を振り返り、自己評価ができるようになった」及び「短大生活を通して社会的に自立できる自信がついた」は100%であった。いずれの項目も、1年次の調査結果よりも、評価が高くなっており、2年次の学生生活が充実していたことがわかる。

2021年度 学生生活の満足度調査結果（保育学科）

1. 調査回答者

2年次 68名 【卒業生74名 提出率92%】

2. 調査結果

1) 満足度調査

| 領域 | 項目 | 1.不満 | | 2.やや不満 | | 3.やや満足 | | 4.満足 | | 0.その他 | | 計 |
|---------|-------------------------|------|-----|--------|-----|--------|-----|------|-----|-------|----|-----|
| 教務 | カリキュラム(教育課程) | 1人 | 1% | 5人 | 7% | 36人 | 53% | 26人 | 38% | 0人 | 0% | 68人 |
| | 授業 | 0人 | 0% | 10人 | 15% | 33人 | 49% | 25人 | 37% | 0人 | 0% | 68人 |
| | 授業科目が充実していた | 0人 | 0% | 6人 | 9% | 29人 | 43% | 33人 | 49% | 0人 | 0% | 68人 |
| | ピアレッスンで自分の力を伸ばすことができた | 0人 | 0% | 1人 | 1% | 20人 | 29% | 47人 | 69% | 0人 | 0% | 68人 |
| | 教育実習で保育力を伸ばすことができた | 0人 | 0% | 0人 | 0% | 22人 | 32% | 46人 | 68% | 0人 | 0% | 68人 |
| | 運動会や生活発表会で実践力を伸ばすことができた | 26人 | 38% | 24人 | 35% | 10人 | 15% | 8人 | 12% | 0人 | 0% | 68人 |
| | 入学前に期待した通りの授業や指導を受けられた | 2人 | 3% | 17人 | 25% | 30人 | 44% | 19人 | 28% | 0人 | 0% | 68人 |
| 学生生活 | 教員のサポート体制 | 0人 | 0% | 4人 | 6% | 27人 | 40% | 37人 | 54% | 0人 | 0% | 68人 |
| | 職員のサポート体制 | 0人 | 0% | 6人 | 9% | 30人 | 44% | 32人 | 47% | 0人 | 0% | 68人 |
| | チューターのサポート体制 | 0人 | 0% | 1人 | 1% | 17人 | 25% | 50人 | 74% | 0人 | 0% | 68人 |
| | 自分にとって大切な友達を作ることができた | 0人 | 0% | 2人 | 3% | 17人 | 25% | 49人 | 72% | 0人 | 0% | 68人 |
| | 保育学科に入学してよかった | 0人 | 0% | 0人 | 0% | 20人 | 29% | 48人 | 71% | 0人 | 0% | 68人 |
| | コロナ対応に係るサポート体制 | 3人 | 4% | 7人 | 10% | 23人 | 34% | 35人 | 51% | 0人 | 0% | 68人 |
| キャリアアップ | 就職支援体制 | 0人 | 0% | 6人 | 9% | 22人 | 32% | 40人 | 59% | 0人 | 0% | 68人 |
| | 資格取得支援体制 | 0人 | 0% | 5人 | 7% | 23人 | 34% | 40人 | 59% | 0人 | 0% | 68人 |
| 自治会活動 | 自治会活動全般 | 9人 | 13% | 12人 | 18% | 29人 | 43% | 16人 | 24% | 2人 | 3% | 68人 |
| 施設 | 図書館 | 0人 | 0% | 1人 | 1% | 24人 | 35% | 43人 | 63% | 0人 | 0% | 68人 |
| | 食堂 | 0人 | 0% | 2人 | 3% | 28人 | 41% | 38人 | 56% | 0人 | 0% | 68人 |
| | 保健室 | 0人 | 0% | 1人 | 1% | 31人 | 46% | 36人 | 53% | 0人 | 0% | 68人 |
| | 学生相談室 | 0人 | 0% | 4人 | 6% | 32人 | 47% | 32人 | 47% | 0人 | 0% | 68人 |
| | 施設や設備全般 | 1人 | 1% | 14人 | 21% | 29人 | 43% | 24人 | 35% | 0人 | 0% | 68人 |
| 総合 | 総合的に学生生活に満足していますか? | 0人 | 0% | 9人 | 13% | 26人 | 38% | 33人 | 49% | 0人 | 0% | 68人 |

※その他は無回答。

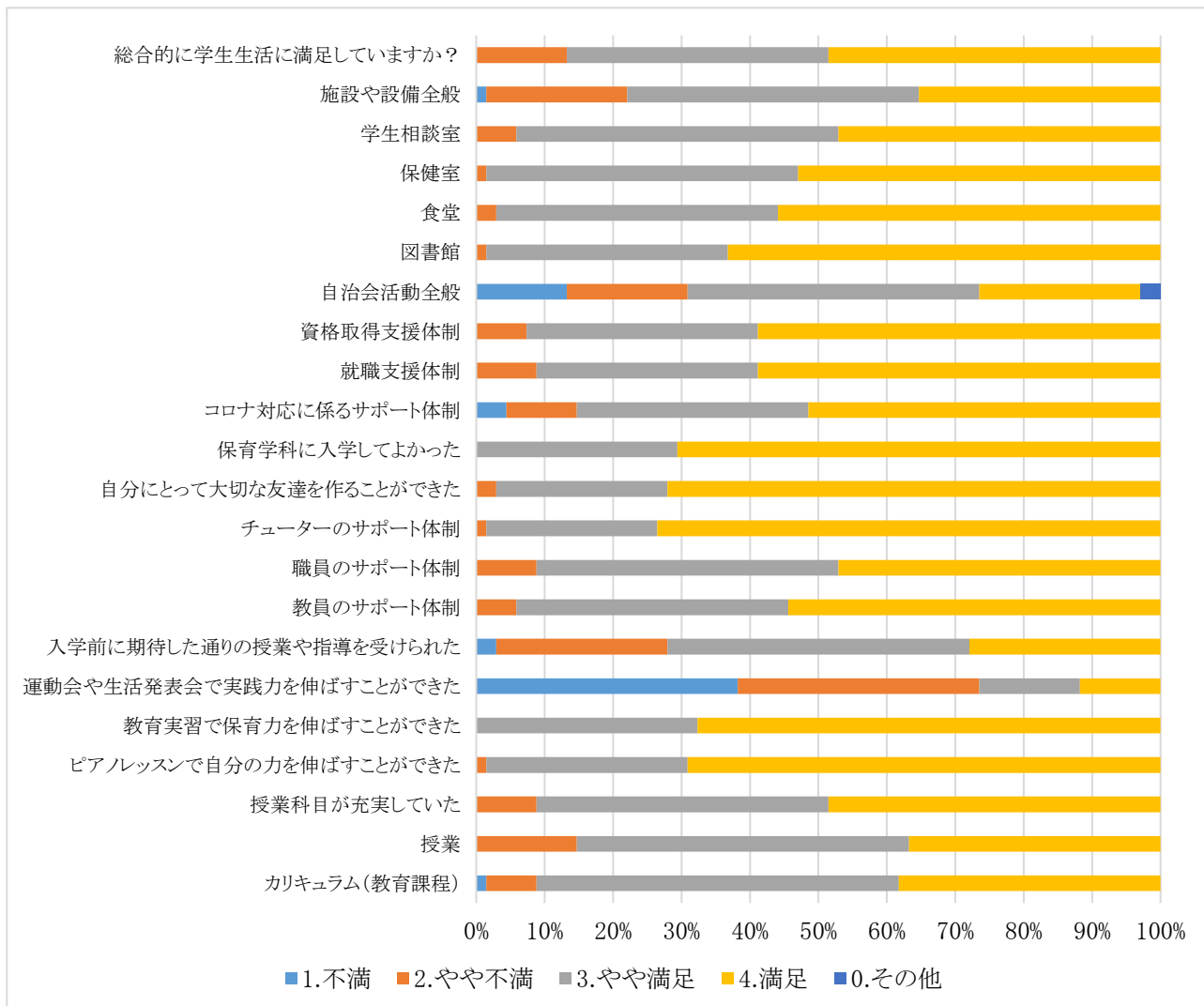
2) 自己点検

| 項目 | 1.身に付かなかった | | 2.あまり身に付かなかった | | 3.やや身に付いた | | 4.身に付いた | | 0.その他 | | 計 |
|--------------------------------|------------|----|---------------|----|-----------|-----|---------|-----|-------|----|-----|
| 短大生活を通して専門的な知識や技術を身につけることができた | 0人 | 0% | 1人 | 1% | 30人 | 44% | 37人 | 54% | 0人 | 0% | 68人 |
| 短大生活を通して生活態度や言葉遣いに成長があった | 0人 | 0% | 3人 | 4% | 32人 | 47% | 33人 | 49% | 0人 | 0% | 68人 |
| 短大生活を通して精神的に成長した | 1人 | 1% | 6人 | 9% | 25人 | 37% | 36人 | 53% | 0人 | 0% | 68人 |
| 短大生活を通して自立できる自信がついた | 1人 | 1% | 6人 | 9% | 29人 | 43% | 32人 | 47% | 0人 | 0% | 68人 |
| 自立した大人として責任を持った行動ができるようになった | 0人 | 0% | 3人 | 4% | 32人 | 47% | 33人 | 49% | 0人 | 0% | 68人 |
| チームワークを大切にすることができるようになった | 0人 | 0% | 2人 | 3% | 25人 | 37% | 41人 | 60% | 0人 | 0% | 68人 |
| 周囲と良好なコミュニケーションをとることができるようになった | 0人 | 0% | 3人 | 4% | 28人 | 41% | 37人 | 54% | 0人 | 0% | 68人 |
| 社会や地域など、誰かのために役に立ちたいと考えるようになった | 0人 | 0% | 2人 | 3% | 30人 | 44% | 36人 | 53% | 0人 | 0% | 68人 |

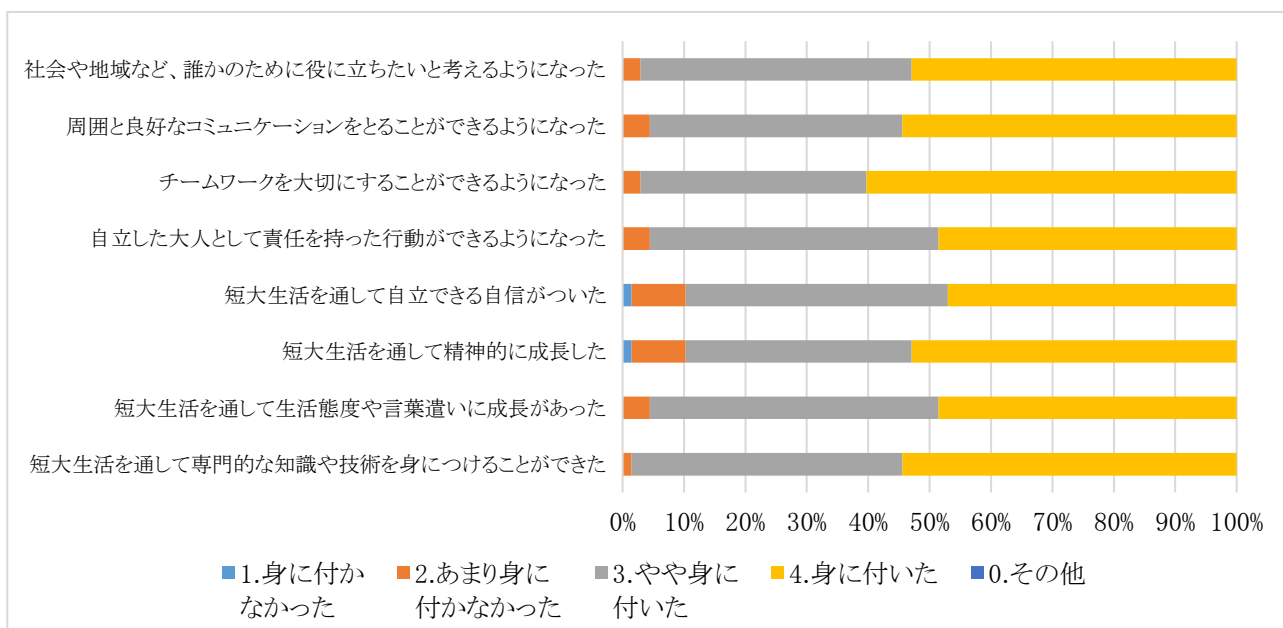
※その他は無回答。

3. グラフ

1) 満足度調査



2) 自己点検



4. まとめ

1) 満足度調査

(1) 状況と課題

「教務」の領域では、“満足群”を表す「やや満足」と「満足」の占める割合が高い結果となったのは、「ピアノレッスン」99%、「教育・保育実習」100%と実践力の伸長に係る項目であった。「カリキュラム」「授業」「授業科目」の項目においても、すべて85%を超える満足度となっている。一方で、「運動会や生活発表会で実践力育成」「期待した通りの授業や指導」の項目の満足度は大変低い。

「学生生活」の領域は、1項目以外90%を超える高い満足度となっている。特に、「教員のサポート」「職員のサポート」「チューターのサポート」については、95%前後の満足度である。一方で、「コロナ禍におけるサポート体制」の項目は85%とやや低い。

「キャリアアップ」の領域では、「就職支援」「資格取得支援」共に90%を超える高い満足である。

「自治会活動全般」は67%の満足度と低い結果であった。

「施設」の領域では、「図書館」「食堂」「保健室」「学生相談室」のいずれの項目においても、90%を超える学生が満足しているという結果となった。現状の施設・設備の中での、最善の対応の結果と思われる。一方で、「施設や設備全般」への満足度は78%とやや低い。行事の準備を行ったり空き時間を有意義に過ごしたりするための居場所は十分とは言えない。

課題は、いずれの領域においても、コロナ禍における対応の工夫といえよう。また、就職や資格取得に関して、1年生時からいかに意識化させていくかも課題だと感じている。

(2) 要因分析

教務の領域における高い満足度は、多くの学生が抱えるピアノ演奏への不安を個々の力量に応じた個別レッスンによって解消できるようにする取組や、実習における直接体験をはじめ、学科行事等における体験学習を通して実践力を伸ばしていきたいという、本学科において特に力を入れて取り組んできたことが成果を上げてきたものと思われる。また、2年生では立て続けに行われる実習での巡回教員とのかかわりや、卒業研究を進める中でのチューターの丁寧な指導、就職活動に向けての学生個々の状況に応じた支援など、学生と教員・職員との密接なかかわりなくしては成り立たない活動が増えてくる。その際の丁寧な支援の結果が、満足度に如実に現れたものと推察される。

一方で、本学年は入学後の2年間をすべてコロナ禍の対応に追われる学生生活を強いられ、その無念さが顕著に表れている。

(3) 本年度の対策

今後とも、担当教員はもとより学科教員全員が一丸となり、学生個々の実情に応じた細やかな支援に努め、全員が様々な活動を通して確かな成長を実感できるよう努めたい。また、授業においても一層の指導方法の工夫・改善を進めていきたい。

さらに、学生個々の自立に向けて、求めや状況に応じたサポート体制の一層の充実に努めていきたい。特に、チューターと連動したキャリアセンター職員の細やかなサポート姿勢は、学生にとって大きな支えとなっていることは間違いない。今後とも、現在の体制をしっかりと維持し向上させていきたいと考える。

2) 自己点検のまとめ

すべての項目において90%を超える高い自己評価結果であった。特に、「専門的な知識・技術の習得」「生活体道や言葉遣い」「チームワーク」の項目は95%を超えている。例年課題となっている「良好なコミュニケーション力」の項目についても96%の学生が身に付いたとの自己評価であった。この結果は、1年間の学生生活を通して、保育者としての基礎をはじめ自己の成長を実感している学生が多いということがうかがえる。今後の実習などの様々な活動を通して、更に自己を高めていくことが予想される。

一方で、成長が十分ではないと感じている学生が少なからずいる。自己肯定感の低さが、本学科の学生の顕著な傾向である。現状をしっかりと受け止めつつ、一人一人の学生の伸びていく姿をつぶさにとらえ、自信につながる評価活動を進めていきたいと考える。